

# 試験結果報告書

---

Sterilize Air Purifier (UPI device)稼働によるPM2.5除去性能試験

---

2015年11月23日

GWELLKOREA CO.,LTD 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

---

報告書 No.215S- 728

---

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081  
大阪府中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会  
TEL 06-6251-7619

# 試験結果報告書

No.215S-728  
2015年11月23日

GWELLKOREA CO.,LTD 殿

遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11



試験項目 供試のSterilize Air Purifier (UPI device) を稼働させた場合の空気中のPM2.5微粒子の除去性能を確認する。

試験試料 Sterilize Air Purifier (UPI device)

試験条件 1) 試験日時 2015年11月9日  
2) 試験環境 室温21℃ 湿度47%  
3) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に約60,000個/cc濃度のPM2.5微粒子を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、Sterilize Air Purifier (UPI device) をボックスに入れスイッチON状態にし、上記濃度のPM2.5微粒子を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。  
尚、表示の数値としては初期濃度を100%として、PM2.5が減少していく割合を%で比較検証する。

## 試験結果

Sterilize Air Purifier (UPI device) 稼働によるPM2.5吸着試験結果  
(初期濃度：60,000個/280cc)

	経過時間					除去率
	初期濃度	10分後	20分後	30分後	60分後	
Sterilize Air Purifier (UPI device)	100	3.3	0.24	0.06	0.03	99.9
空試験	100	96.4	90.7	85.6	83.9	16.1

(単位:%)

考察 供試のSterilize Air Purifier (UPI device) を稼働させた場合、PM2.5の吸着率は60分経過後で99.9%に達した。一方、空試験の場合は16.1%に止まった。このことから、Sterilize Air Purifier (UPI device) を使用することで、空気中のPM2.5をよく除去することが確認できた。  
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

PM2.5吸着試験グラフ

